

# 研修報告

## 総務常任委員会

### 研修目的

大型商業施設の交通及び環境問題について  
合併協議会解散後のまちづくりについて

### 研修地

大阪府 伊丹市  
京都府 木津町

### 研修結果

伊丹市の「ダイヤモンドシティ テラス」は、平成14年10月に開店し敷地面積約6万1千㎡、地下1階、地上5階、駐車台数約2千台、駐輪台数2千5百台であり、来客者の約4割は公共交通機関を利用し、JRR伊丹駅より直接来店できるようになっていました。乗用車での来客に対しては、

周辺道路の敷地内への拡張、整備、警察との連携による信号機の時間操作を行い、交通混雑の解消を図っています。

環境面については、店舗周辺には、地域に自生する樹木3万本を敷地内に植樹すると共に、店舗から出るリサイクル可能なごみは全てリサイクルに利用し、ごみ減量化に取り組んでいました。同店舗は、ハートビル法認定の施設であり、車椅子同士ですれ違える広い通路、盲導犬同伴での買物、介添えサービスの実施、赤ちゃんルームの設置など身体の不自由な方、赤ちゃん連れの方も安心して買物ができる施設となっています。

合併協議会を平成15年2月に解散し、住民参加によるまちづくりを進めている木津町

は、面積が23 K㎡、人口3万7千人の松前町の類似団体です。町の丘陵地帯が関西国際空港建設と並ぶ国家のプロジェクトである関西文化学術研究都市に位置づけられ、産、官、学の連携による研究施設や住宅が建設されたことにより年間千人程度の人口の増加がみられ、平成20年に5万人を目標にしたまちづくりを進めています。本年度より知事権限を地方振興局長に大幅に権限委譲し、事務の簡素化、迅速化を図る、機構改革を行ったため、今後組織機構を検討する予定にしています。

住民参加によるまちづくりとしては、3・5haの公園を整備するに当り、地元小学校の総合学習の時間を利用して、自分たちで利用したい公園づくりを目指し、子供たちで調査、ヒヤリングを行い、設計図を描いて公園づくりを進めていました。そ

の公園の管理は、地域住民のボランティアによる管理を目指し組織づくりに取り組んでいます。丘陵地のニュータウンの住民には、木津町の「区長設置条例」により区域ごとに区長を選出してもらい、行政運営を行っていますが、新旧住民の地域自治に対する意識の違いがあるため、全町一体となったまちづくりが今後の課題となっています。



## 文教厚生常任委員会

### 研修目的

子ども家庭支援事業について  
介護予防・自立生活支援について

### 研修地

東京都 調布市  
埼玉県 小鹿野町

### 研修結果

「調布市子ども家庭支援センター」は、駅前再開発ビルの2階部分に開設経費約13億円で設置され、社会福祉事業団に年間約1億7千万円で運営委託されています。

センターの職員は、保育士・教員免許所有者・保健師・看護師・社会福祉士・臨床心理士など専門員が配置され、住民の信頼を得た環境の中で、「すこやか保育」「トワイライトステイ」「シヨートステイ」などの有料事業や、「施設開放」「乳幼児交流」「エンジェル大学」「広場のお医者さん」などの無料事業を実施しており、年間約16万人もの利用がありました。